

大妻同窓会新潟会報

発行日令和3年1月20日 第10号
大妻同窓会新潟(大妻女子大学新潟県同窓会)

発行責任者 渡邊 美栄子 (代表)

ご挨拶

大妻同窓会新潟代表 渡邊美栄子

新年を迎え、会員の皆様にとって良き一年でありますように心からお祈り申し上げます。昨年は年明けより経験したことの無い感染症に始まり、依然として不透明な情勢となっておりますが、当同窓会でも毎年開催されてきた定期総会が通常の様には開催できなくなり、他の活動も中止となりました。会員の皆様方の安全の為とは言え、非常に寂しい一年となり、また皆様とお会いできる時を待ちにしているところでございます。本年の当同窓会の活動としては本来であれば総会、カルトナージュ講習なども令和2年度予定しておりました為、改めて実施できると良いなど考えております。日本の歴史を振り返りますと、幾多の試練を国民

が心をひとつにして乗り越えて来た事実があります。国にとって国民が同志となって力を合わせること程大きな力を生むことは他にないと思います。しかし昨今の状況では人と人とのあたたかい絆が分断されかねない危機感があり、私達はひとつひとつの縁を大切にすることが非常に重要になってくるのではないかと感じております。「袖振り合うも多生の縁」という言葉があります。本同窓会を通して同じ会員となれたことは実は余程の奇跡的な確率であり、このご縁に心から感謝の念が溢れています。また心配なく集うことができる状況となりましたら、いつでも参加できる気軽な場所として皆様に認識して頂ければ、これほど嬉しいことはございません。その日を心よりお待ちしつつ、皆様のご健康とご多幸を深くお祈りしております。

第38回総会開催について

例年であれば、会場をお借りして開催する総会ですが、本年は春にご案内いたしました通り諸般の事情を考慮して対面による開催を中止いたしましたので別紙のご報告をもって開催、ご承認頂いたものとさせて頂きたいと思います。勿論ご意見は書面にてていつでもお受けしておりますので宜しくお願ひ申し上げます。

ビデオ「恥を知れ」コタカ先生からあなたへについて

令和2年10月に大妻女子大学博物館 大妻コタカ・大妻良馬研究所様より大妻コタカ先生に関するビデオが地方同窓会宛てに配布されました。今後総会などで皆様に観て頂く機会を設けたいと思いますが、2本のビデオのうち1本を写真にしたものと、ナレーションを文章にしてご紹介します。一部前回の会報に掲載した内容と重複がありますが、校訓をはじめとする大妻の心の根幹ですのでお言葉をあじわって頂ければと思います。

1. はじめに 女子教育者の先駆者である、大妻コタカ先生は 哲学者ではありませんが、苦難の多い自身の実践体験からにじみ出た言葉には説得力がありました。今の時代にも響く、コタカ先生の言葉を、あなたに送ります。

2. 「恥を知れ」 「恥を知れ」は、夫良馬さんの大妻家の家訓で、大正6年、学校創設時に校訓として制定され、今も大妻学院の校訓です。コタカ先生は「恥を知れ」について、つぎの様に言っています。
「この『恥を知れ』については、決して他人に対して言うのではなく、あくまでも自分に対して言う言葉です。人に見られたり、聞かれて、恥ずかしいようなことをしたかどうか、と自分を戒める言葉です。」朝夕に、自分の心に問いかげ、自分自身を高め、自己を愛しましょう。



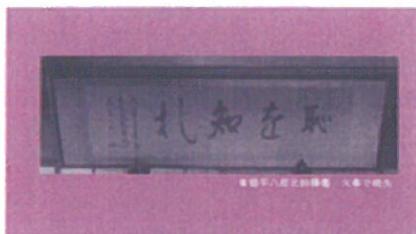
コタカ先生からあなたへ



発行日令和3年1月20日

大妻同窓会新潟

第10号(2)





3. 「失敗にくじけない勇気」コタカ先生は、他人の意見に耳を傾け、自分の考えを堂々と主張する姿勢を持つことによって、多方面にわたる交流を重ねて行きました。晩年、若い人に、失敗を恐れず、チャレンジしましょう、とつぎのように言っています。「若い時代には、おおいに外に向かって自分をすすませてみる必要があると思

います。失敗すればそれが一つの体験になり、一番大切なことは、それにくじけないだけの勇気が欲しいということです。私は随分あらゆることに頑張ってきたつもりですが、今になってふりかえってみると、もっと自分を試みるべきだったと、くやむことが沢山あります。ですから可愛い子どもたち(教え子たち)に、私に代わり、うんと張り切って、若い時代を充実してもらいたいと望んでいます。」

4. 「感謝の生活」「私は、いつでも和やかに、平らな気持ちで、できるだけ善意に解釈して、すべてに感謝の気持ちを持ちたいと思っております。感謝とか有り難いとかいうことは決して強制的ではなくて、ごくありのままの感情から流れ出る気持ちだと思います。私どもは毎日の生活にいかに多くの恵みを受けているかを考えますと、どんな小さなものにも、つまらないことにも精一杯の愛情をもって生きようと思います。

最後にコタカ先生のお言葉

「今日ございますのは、夫のお陰もむろんございますけれども、私自身は何も出来るものではない、役立たないものを、今日にして下さいましたのはみなさんのおかげでございます。本当に心から感謝申し上げております。」
(前頁 「恥を知れ」の書は東郷平八郎元帥揮毫ですが火事により焼失しています。石碑は広島県世羅郡世羅町に残る旧大妻女子専門学校跡に有るもので、世羅町でも大妻の教育が受けられていました。 *昭和27年～昭和56年)なお、このビデオはYouTubeからも視聴できます。

(QRコード→)



ビデオの内容は以上ですが、コタカ先生のお写真や文章を拝見致しますと、同じ時代に生きた私達も良く知る歴史に名を残す偉人達との交流が有り、共に時代を作つておられたことを改めて知り、そして女性リーダーの草分け的な存在であったこと、また常に謙虚に自分を正して、そして慈愛に満ち、情熱溢れる生き方をされていたことが良くわかります。大妻学院を卒業したひとりとして、時代を超えたこれらの教訓を大切に胸にきざみ、生涯精進して参りたいと改めて深く感銘を受け、そして卒業生として誇らしい気持になります。

令和元年度活動報告

開催日	時間	場所	活動名
5月26日	10:00～12:00	アトリエ・ドルチェ	紅茶のレッスンⅡ
6月2日	10:00～11:00	ホテルニューオータニ	青葉の集い、代表者会議
7月7日	10:00～11:00	アートホテル新潟	理事会
7月7日	11:30～15:00	アートホテル新潟	総会・懇親会
3月15日		書面にて確認	理事会
3月31日		書面にて確認	理事会

令和元年度決算書

自 令和元年(平成31年)4月1日～至 令和2年3月31日

一般財団法人大妻コタカ記念会のHP、FBもご覧ください

<https://www.otsuma-kotaka.or.jp>

(Facebook: @Otsuma.kotaka.kinenkai)

大妻コタカ記念会は、学校法人大妻学院の設置する学校の卒業生及び大学生・高等学校生徒で構成される団体です。明治41年大妻学院創立の後、創立者の大妻コタカ先生とご夫君の大妻良馬先生は大正10年に「大妻同窓会」を設立し、コタカ先生は終生、会長として全国の多くの同窓生の、いわば生涯学習のために、多くの事業を行つてこられました。コタカ先生ご逝去の後、「大妻同窓会」は大妻コタカ先生のお名前を永久に残し、ご遺志を継承すべく、「財団法人大妻コタカ記念会」の設立を文部省に申請しました。大妻コタカ記念会が普通の同窓会の事業の他に、社会の福祉や文化の発展に役立つ公益のための活動ができるものと認められ、昭和49年5月にその認可を得たのです。大妻コタカ記念会は、同窓生相互の親睦をもとに、公益法人としての活動に尽力しております。

【会費の納入について】

卒業生は会費を納めていただく事により、大妻コタカ記念会の会員になります。記念会から会報や会誌が送られてこなくなった方は会費が切れている方です。下記の方法で会費をお納めください。

●年会費は2000円です。何年分でも納入できます。

●会費の切っていた期間はさかのぼって納めなくても大丈夫です。
納めてくださった年から有効となります。

●会費の納入方法はこちらです。

郵便振替 郵便局備え付けの払込取扱票で 口座番号…00170-8-48936 加入者名…一般財団法人 大妻コタカ記念会 通信欄に下記の事項を記入してください。

現氏名（ふりがな）改姓の場合は旧姓も

卒業の学科、専攻、クラス

卒業年（卒業年度ではなく○年○月卒業と）

生年月日（同姓同名が多いため）

現住所、電話番号、eメールアドレス

大妻同窓会新潟会費納入のお願い

◎1年分の会費 1,000円 入会金 1,000円

入会を希望される方、お忘れの方は、下記に振り込んでくださいますようお願いいたします。

加入者名：大妻同窓会新潟

郵便振替番号：

記入事項：①姓名（旧姓も） ②住所 ③電話番号

④卒業年・学部・科を記入してください。

第39回(令和3年度)定期総会のご案内

開催可能となりましたら、ご案内を郵送致しますので
お手元に届きましたらご覧ください

編集後記

総会や講習会などが中止となりましたが、第10号を発行することができました。これもひとえにいつもご協力くださる会員の皆様の深い理解の賜物と心より感謝申し上げます。今回はコタカ先生のお言葉や写真など中心に編集いたしました。広く皆様の原稿など、いつでもお待ちしております。お気軽に下記まで、お送りください。お手紙、メール、SMSなど一言でも、いつでもお待ちしております。